

目録



大田ゆうすけ

(福山市議会議員)

No.6

毎月1日号に掲載

鞆の埋め立て架橋 事業について

鞆の住民説明会は荒れ模様で終わったようですが、知事と市長の対話の不在は全く困った事態です。国と知事の対話もないようで、市長を説得する材料の提供など、県に対する具体的な応援が出来てない状況と聞いています。

知事は事業認可権限を持っているのですから、トンネルを選択するなら政治家らしく根回しをして見返り案を出し、各方面を納得させる努力が必要です。仮に知事が架橋を選択したとしても、裁判が再開され高裁・最高裁の判決が出るまで数年かかります。さらに時の国土交通大臣が認可するかどうか不明であり、着工時も現場でかなりの混乱が生じるでしょう。そして完成まで10年かかるとなると、いつたい何時になる話でしょうか。どちらを選択しても知事は厳しい立場に追い込まれるでしょう。

鞆の問題の本質は、鞆の抱える様々な課題(道路問題・町並み保存・下水道等インフラ整備・高潮対策・医療過疎・少子高齢化問題・雇用問題等)のすべてを埋め立て架橋事業で一挙に解決しようというもので、埋め立て架橋事業が着工されないためにすべての課題が長年たな晒しにされています。この間の経済的損失は計り知れず、一挙に解決という計画自体に無理があると考えられます。賛成・反対両派の意見を伺えば、共に「対応可能な課題から解決してほしい」と言われていました。停滞する現状を賛成・反対派住民が互いに責めあうような状況を作った行政と政治の責任は重大です。

さて、私は鞆の元遊郭であった古民家を自費で修復再生して昨年より公開しています。眼前に弁天島が浮かぶ3階建ての遊郭建築・鞆ノ津ギヤラリ「ありそ楼」が鞆の新たな交流と情報発信の場となるよう、微力ですが協力させてもらっています。そして、鞆住民の皆様と新たな鞆のまちづくりに向けて再スタートを切りたいものです。

営業は不定休であり、電話080・16366・79695(みと)に確認の上お越し下さい。